

編輯室內外

●塹壕に絹夜具を持ち込み、飯盒に刺身を
 入れて戦争が出来ぬことは何人もよく承知
 してを斯の如き世には戦時下國民生活の
 もの妙くない。銀座街頭を逍遙する男女や
 待合や料亭に宴遊する紳士の中には屢々自
 らの享樂化せんとするものあるは言語同斷
 である。我々は戦時生活の調整を全國國民自
 己の教養と文化によつてなすべきであるこ
 とを主張する。ここに戦時生活が耐乏忍苦
 の連續を餘儀なくされながら樂しく笑つて
 切り抜け得る餘裕をもつことが出来るので
 ある。と戦時下耐乏忍苦の生活力強化策と
 して新文化運動を強調する者がある、吾人
 は之に賛同するに吝かなるものでない、速
 かに此の如き運動の實行せられんことを切
 望する。

●厚生省保険院の推薦圖書に「肺結核は必
 らず治る」といふ肺病の療養書があるのに
 同省關係者の某氏は不治の病と再三之を繰
 返して放送したのである。故意か、不用意
 か、無意識か、とにかく肺結核は不治病と
 いふことの人心に及ぼす影響を考ふる時に
 何と不謹慎なる言葉なるかな、人をして全
 治か不治か迷はしむるものあるは明かな事
 である。醫療團の設立せられたるは、其の
 ●企圖待望を無視せるが如き言葉を用ひ、之
 ●を公にする官吏の存在は如何。

●日本出版會に於ては今回通常制富審議會
 なるものを設け、出版企畫の査定を愈々嚴
 重にすることとなつたのである。

編輯室内外

に企業整備の方も進行して居るから夫れと
 相俟つて出版界は愈々益々窮屈となるであ
 らう、時局便界の著文や査定が容易である
 のと思密からの古典文書の出版や南方關係
 書の著作等が幅をきかせて居る。凡そ時代
 の要求する書籍又は時局に媚びる。出版時
 代に要求を強ゆる著作等に對しては嚴重に
 取締る必要がある。なぜ内容を充分に是等
 の出版物に對し嚴重に審査を行はざるか、
 其の看板を對して粗雑におほまかな、見直し
 的な審査を爲すに過ぎざるかの觀あらむ
 るか。とにかかく用紙の制當にした處が偏頗
 ●心に問はれ何んと答へん。不便には馴れ
 たが暗黒には馴れ難く、暗い街路について
 見ると左側通行の規則を守つて居ない、暗
 い街路は左側通行を嚴守しなければ危険で
 あるが、交通道徳が無視されてゐる。特に
 ●女人に左側通行の違反者が少くない、明所
 暗所の差別なく、道徳訓練を身につけるこ
 とが國民的要點として確認するものにほも
 つと謹慎を要する、交通上の少しの注意や
 訓練にさへ自己を正しく置き得ないとすれ
 ●ば勤務、奉仕、生活にも眞精神が入つてゐ
 まらうか、之を否定し抗議し得る者果して幾
 ●人か。●市場に一物の菜果物が出ないのに、朝早
 ●に立派な野菜を積んだ車が驍町や料亭街や
 ●に止まつて居て、其のまわりには寝起き姿
 ●やエプロン着たの婦人達が立ちまわつて喋々し
 ●てゐる。●市場では手に這入りませんか、●と言ひ譯を云
 ●ふ、仕方がないのではない、仕方があつてや

うにしないのだ、銃後國民、婦人も老人も
 ●今は戦ひつゝある最中である、仕方がない
 ●と謂ふ時ではある、此深刻な苦痛を忍ぶた
 ●は一の訓練である、此訓練に打ち克つてな
 ●ければ戦は勝てない、仕方があつてやうにす
 ●る庫が大切である。

●兵庫縣有馬郡山口村から同郡有野村へ越
 ●す縣道の早朝、一群の人達が營々と道路を
 ●理にいそしんでをる、その中に顔見知り良
 ●人が二、三人、よく見ると山口村長作田良
 ●藏氏を陣頭に立てた役場の人達の曉天奉仕
 ●だ、小學兒童はとぎすました鎌を持つて草
 ●刈に熱汗を絞る、村役場の人達は曉明けと
 ●共に村境へ出て道路改修に戰ふ村の斷面が
 ●ひし／＼と眼にしみかすと目撃者の物語り町
 ●々村々でも斯くあれかしと祈つてやまぬ
 ●(一八、九、一四、洗)

發行所 東京 都 麹町區霞關一丁目内務省内 電話銀座(57)〇四二七 振替口座番號東京三三三六	發行所 東京 都 赤坂區米川町一七 電話銀座(57)〇四二七 振替口座番號東京三三三六	發行所 東京 都 小石川區諏訪町五六 電話銀座(57)〇四二七 振替口座番號東京三三三六
編輯者 東京 都 赤坂區米川町一七 電話銀座(57)〇四二七 振替口座番號東京三三三六	編輯者 東京 都 赤坂區米川町一七 電話銀座(57)〇四二七 振替口座番號東京三三三六	編輯者 東京 都 赤坂區米川町一七 電話銀座(57)〇四二七 振替口座番號東京三三三六

定價一ケ年分 金五十圓
 印刷所 (東京三三〇) 奈社常磐印刷所
 印刷者 奈社常磐印刷所
 發行所 奈社常磐印刷所

五四〇〇二二號番員會版出本日